

幼稚園だより

雪遊び参観日

今年は雪の降らない暖かい冬ですね。「雪だるまがで কিনなあ〜」「スキーがで きんなあ〜」と残念がつています。子どもたちが楽しみにしている雪遊びがなかなかできません。そんな中、1月26日に親子で雪遊びに大茅スキー場へ行きました。山肌が出ていたりして雪の量は十分ではなかったのですが、子どもたちは歓声を上げて楽しむことができました。



▼お菓子拾いに熱中している子どもたちです



いつもは子どもたちだけでは行くことが出来ないような高い所まで登ったり、友だちと二人組になって滑ったり楽しい時間を過ごしました。

また、お父さんが、少量の雪を集めて恒例の「ジャンプ台」を作って下さり、こわこわジャンプする子ども、元気にスピードを出してジャンプする子ども、何回も何回もチャレンジする子どもといろいろな子どもの姿が見られました。

小さな雪だるまを作り、それで満足をしている子どももいました。子どもたちが楽しみにしている「お菓子拾い」。雪の中でマイペースに拾う子どもたち。ほほえましい子どもの姿でした。少量の雪の中でしたが、子どもたちの満足した顔を見ることが出来ました。

小学校だより

歯みがき教室

歯医者さんと歯科衛生士の方が来校され、よくかむことの大切さやブラッシング指導をしてくださいました。

・ぼくは、ちゃっちゃと歯みがきをしていただけで本当の歯みがきの仕方を聞いて、ちゃんとやらないと虫歯キンが取りのぞけないと分かりました。
(安藤 甲斐)

・歯こうをむらさき色にそめる液をぬった時に、前歯の横の歯がきたなかったたので、その歯を集中的にきれいにしようと思いました。
(石井 いぶき)

・歯こう一gに一兆ひきのバイキンがいることが分かったたので、これからはよくかみ、歯を大切にしたいです。
(金田 玲奈)

・昔の人は一回の食事で何千回もかんで、五十分もかかって食べていたことを知りました。ぼくは二十分くらいなのでびっくりしました。
(神原 昌嗣)

・ぼくにとってはよくかんでいるつもりでも、食べる物がやわらかいか昔の人よりかむ回数が少ないのかなと思いました。
(河野 拳人)

・一日にだ液は一・五リットルも出ていることが分かりました。私の歯

はカーブのところがむらさき色になっていたたので、気をつけて歯みがきしたいです。
(河野 冴耶)

・歯こう一gにバイキンが一兆ひきいて、歯みがきをせずつねると三十倍の三十兆になるそうです。そうぞうすると気持ち悪くなりました。

・いつもきれいに歯みがきをしてるつもりだったけど、歯こうを色づけする液をつけてたしかめてみたら、けつこう色が出てびっくりしました。
(長野 希恵)

・歯こうを色づけする液を歯につけると、歯はあまり色がつきませんでした。けれど、歯ぐきに色がついてしまいました。歯ぐきもやさしくみがかなければいけないんだと思いました。
(新田 壮史)

・下の前歯四本に色がついたので、ここを中心にみがこうと思いました。一日にとつていい砂とうの量は二十gと知り、私は食べすぎていることが分かりました。
(政久 秀美)

・歯こうを色づけするとむらさき色になりました。きたないなあと思つたのでこれからは朝昼晩きちんとみがきたいです。

よくかんで食べるとだ液がしつかり出て消化を助けることや、脳に血がまわり集中力を保つことができることも学びました。



優秀賞受賞

中学校だより



とができました。

まず、ツリーに飾る「サンタ」の顔を色紙で作りました。折り方が難しく、みんなで協力しながらの作成となりました。また、「靴下」や「靴」も作り、飾り付けをしました。あっという間の二時間でしたが、みなさんと楽しいひとときを過ごすことができました。

十二月二十二日、生徒会執行部の五人がボランティア活動の一環として、ゆうゆうハウスの「クリスマス会」に参加しました。この取組は、今回で二回目でしたが、どんな内容であればよいか色々と考えを出し合い、準備を進めました。

ボランティア活動

全国人権擁護委員連絡会の主催による第二六回全国中学生人権作文コンテスト岡山県美作地区大会で、三年生の小椋 千織さんが優秀賞を受賞しました。

